


【法人情報】


(令和4年12月1日現在)

法人名	特定非営利活動法人 工房ポルトス	法人設立	平成23年6月	
代表者	代表理事 須賀 進	連絡先	048-749-5178	
法人所在地	さいたま市岩槻区仲町1-12-16	メール	portus@ipone.ne.jp	
		HP	https://www.npo-portus.jp/	
代表者より一言	Portus（ポルトス）は、ラテン語で“港”を意味します。工房ポルトスは、様々な人たちの“港”でありたいと考えています。様々な障害を持つ人や様々な心の鬱屈を持つ人が、信頼と安心の感情を持ち交流できる“あったか〜い空間”を整え、個人の健康な能力を有効に生かし、充実した自分の存在を表現できるようにサポートする事を目指しております。この理念を一緒に目指し、一緒に働きませんか。			

【運営施設・事業所等】

施設・事業所名	提供サービス	所在地
工房ポルトス	児童発達支援	さいたま市岩槻区仲町1-12-16
	放課後等デイサービス	
	就労継続支援B型	
	生活サポート	
	学外ふれあい活動(書道)	
	生活うるおいサポート活動(ヨガ教室)	

【こんな仕事をしています】

	職種	仕事の内容
	児童指導員 (作業療法士)	支援計画の立案、療育プログラムの立案、児童への提供教材の作成、児童の送迎、保護者の方や学校・相談員さんとの連携、事務作業、等を主体として、また利用する児童が“ポルトスに行きたい”と思ってもらえるよう日々取り組んでいます。
	2年目	

【仕事のやりがい】

一番は児童の成長です。日々の支援の積み重ねが少しずつ変化（成長）を見せ、時には急激に変化（成長）を見せる児童もいます。また、変化（成長）に時間を要する児童もいますが、支援（療育）方法の見直し、等常に考え、プログラムを行うことで日々職員側の勉強だと思っています。それが結果として、変化（成長）に結びつく楽しさ、難しさに日々やりがいを感じています。

【法人・事業所の好きなおとこ】









日本式家屋（化学建材を使用しない木造建築）の中で、“何かほっとする”お家に帰ってくる様な安心できる環境が、利用する児童に気持ちの落ち着きを与えています。その中で、児童だけでなく職員も含め全員がゆったりとした空気に包まれています。

日々の作業活動で取り組んできた作品を展示し、作品展を毎年10月に開催しています。保護者の方々、学校の先生、岩槻区内福祉事業所の方々、近所の方、等々に見ていただいております。“え！あの子がこの作品を！”と驚きや喜びの声が聞こえます。また、自分の作品を恥ずかしく照れながらも案内をする児童の姿が頼もしく成長を感じ、日々の暮らしの中では見られない光景に指導員として感動のひとつです。

【法人の事業内容等の紹介】

【ポルトス職員の指針】

障害を持つ利用児童、利用者さん一人一人が、それぞれの特性や違いを認められ、一人一人の“わたし”に合った支援の場に参加し活動（仕事）をすることで、“わたし”の力を出し切れる喜び、達成感を感じられる支援を目指しています。この“支援”が、将来意義のある社会生活を営むための基礎的能力を育て、一人一人が精一杯の自分を表現して社会に参加できる心豊かな人として、たくましく健やかに成長してくれることを願い、また一人の社会人として旅立てるよう成長できる事を願い、職員は“支援”を行っております。

【ポルトス職員の職種】

児童発達支援管理責任者、サービス管理責任者
臨床心理士、公認心理師、作業療法士、介護福祉士、保育士、幼稚園教諭、教諭
児童指導員、職業指導員、生活支援員

【児童発達支援／放課後等デイサービス】



机上での作業活動を通し、創造力、道具の使い方やルール、手指の巧緻性、力のコントロール、等々一人一人の課題に合わせ提示し、支援を行っています。

ホールでは感覚運動プログラムを中心に身体の使い方、体幹、集団での動き、言語指示を行動化、等々その児童の課題を意識し取り組んでいます。

高校生には、卒業後を見据え作業訓練を提供し、作業のできる幅を広げるプログラムを行っています。時折、就労支援事業所より仕事をお借りし実践同様に取り組むこともあります。

【就労継続支援B型】



内職作業を中心に一人一人利用者さんの能力に合わせ仕事を分業し取り組んでもらっています。仕事を集中する時間と雑談をしたりする休憩時間とのメリハリを持ち、毎日楽しく仕事をしています。

第四土曜日は余暇活動を行っており、利用者さんと買い物や外食（働いた工賃を使う機会）、イベントを行ったり、仕事以外の楽しみの中から社会性の向上を目指しております。